

令和5年度 能勢町会計決算を認定

決算常任委員会報告

9月17日・19日・24日 開催

決算常任委員会に付託された「令和5年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定」については、9月17日、19日に委員会を開催し、決算内容を審査しました。

採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

主な質疑応答は、次のとおりです。

◇ 令和5年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定

認 否

認定

平田 要	井上加奈子	難波希美子	西河 巧	岡本ひとし	中西 顕治	中植 昭彦	奥 久明	太田祐介	森田 則子
○	○	×	○	○	○	×	×	○	委員長

注:委員長は採決に加わりません。

総務部(総務課・理財課・住民課)、出納室、議会事務局

問 ふるさと応援寄附金は、寄附金の用途を選べるようになっている。特に子ども関係・教育関係に関心が高いが、どの様に使われているかを問う。併せて、寄附者には項目毎に使途が分かるようにする必要があると思うが考えを問う。

答 ふるさと応援寄附金の使途については令和6年度予算において、教育・文化事業の寄附金の内、約760万円を保育所基本計画に充当している。また、項目別の使途についてはホームページで分かるようにしていきたい。

問 消防団員の退職者が70人になっている理由と、令和5年度の消防団の再編に向けての取組みについて問う。

答 令和4年度までは500人の登録であったが、活動見込みがある方に登録していただいた結果、令和5年度は429人となった。5回の再編検討委員会を開催した。班単位の活動が難しくなっている状況のため、分団単位の活動を基本として今後も検討していく。

問 ふれあいプラザのコミュニティスペースの9時から17時の利用状況を問う。また事前使用予約簿設置により、利用しやすい方法が取れないのかを問う。

答 コミュニティスペースは予約なしで、いつでも誰でも自由に入出し使えるので、件数・人数を把握していない。日時を指定する使用は貸室の利用をお願いしたい。

問 乗合タクシーの利用状況が目標人数に達していないようだが、利用状況を問う。また、目標人数に達した場合の収支はどうなるのかを問う。

答 令和5年度の運行回数は977回、月平均81回であった。公共交通ガイドブックなどで利用の周知を図っている。目標人数は、令和5年度は一日20人だったが、一日当たり平均5.4人の利用であった。令和6年度は一日25人目標であるが、目標はアンケートから算出したもので、収支を見込んだものではない。目標を達成しても、黒字になることはない。

福祉部(福祉課・健康づくり課)

問 乳幼児の定期予防接種について問う。

答 ほとんどの乳幼児は定期予防接種を受けているが、小学生時期に追加接種をする2種混合や日本脳炎は間隔が開いてしまうこともあり、接種割合が下がる傾向にある。定期検診や就学時健診、学校からの案内配布、能勢っ子ナビの活用で、接種漏れがないように案内している。

問 HPVワクチンの接種状況について問う。

答 キャッチアップ接種の接種者は30人、定期接種の接種者(小6～高1女子)は19人となっている。キャッチアップ接種は令和6年度で終了するため、LINEでの案内やセミナーを開催するなど啓発に努めている。